



学校便り

<http://www.katsushika-sh.metro.tokyo.jp>

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」

校長 村山 大介

暖かな日差しが、春を感じさせる季節となりました。

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に御理解御協力いただき、誠にありがとうございます。

「一月往ぬる二月逃げる三月去る (いちげついぬる にげつにげる さんげつさる)」という言葉があります。正月や節分にうるう年などが続く1月から3月までの時期は、時間の流れが早く毎日があっという間に過ぎ去ると喩えた言葉です。現代風に言うと「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と表現されます。特に1月から3月の学校の暦は3学期。時の流れは早いもので、新年1月を迎えたと思ったら、2月が終わろうとしています。3学期は学校生活のまとめの学期です。1、2学年は今年度を振り返り、新年度4月からの目標を考える時期です。3学年はいよいよ3月に迎える卒業を通して、卒業後の生活をイメージした準備を完成させる時期でもあります。



私は新年の決意として、「時間を大切にすること」を挙げました。「時間は与えられるもの?」「自分で作るもの?」と質問されたら、私は「自分で作るもの」と答えます。与えられる時間よりも、自分でいろいろなことに悩んだり、工夫して作ったりした時間は、とても尊いものだと思うからです。その時間を使うことは価値があります。生徒の皆さんも、ぜひ、時間を作ること、時間を大切に使うことについて考えてみてください。

「自立と社会参加へつなげる授業力の向上」

研修部担当主任教諭 長谷川 伸茂



今年度、本校は「自立と社会参加へつなげる授業力の向上」をテーマに校内研究に取り組んできました。本校には、研究授業の時に使用する「授業づくりチェックシート」というものがあります。授業者はこのシートを活用しながら授業のポイントを整理して授業づくりを行います。また、授業を参観した教員が授業を評価する際のシートにもなっています。教員はこのシートの活用を通して、生徒たちが楽しく学び、自信を深め、自立できる人間となれるように、工夫のある授業改善に役立っています。その結果として、生徒は、活気のある授業を教員とともに創りだし、自分の考えを堂々と発表し、それを仲間が支えるなど、意欲的に授業に取り組むようになってきております。

この校内研究の成果報告会を2月10日(金)に実施しました。報告会には、全国特別支援教育推進連盟副理事の岩井雄一先生を講師に招き、「自立と社会参加」をテーマに講演をしていただきました。岩井先生からは、学校教育の観点だけではなく、社会福祉の観点からも「自立と社会参加」についてお話をいただきました。卒業後には社会に出て、福祉とも関わっていくことになる高等部の生徒を指導する私たち教員にとって、とても有意義な話となりました。

今後ともこうした研究授業を通して、生徒が楽しく学び、仲間を思いやり、実践的な力を身に付けられるよう取り組んでまいります。また、将来、社会参加した時、自立できる生徒として成長できるように、私たち教員も成長し、生徒一人一人を大切に指導してまいります。

学校便りは音声でも確認できます。



学校便りは配布時期と学校サイト掲載日がずれる場合があります。